

# 学習指導案の形式（例） 中学校外国語科

## 第〇学年〇組 外国語科 学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時 〇〇教室 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 〇〇〇〇〇〇〇〇「ユニット(プログラム)名」(第〇学年)

2 単元の目標

◇学習指導要領の目標及び内容（指導事項）を踏まえて設定する。

例：あるテーマについての英文を読んで概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを伝えあったり、意見文を書いたりすることができる。  
「内容のまとめり：読むこと」

3 単元の評価規準

◇評価規準の設定に当たっては、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」、  
「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価」等を参考にして適切に設定する。  
・「知識・技能」は「内容のまとめりごとの評価規準（例）」を基に、各分野の評価の観点の趣旨を踏まえて、評価規準を作成する。  
・「思考・判断・表現」は「内容のまとめりごとの評価規準（例）」を基に、各分野の評価の観点の趣旨を踏まえて、評価規準を作成する。  
・「主体的に学習に取り組む態度」は「内容のまとめりごとの評価規準（例）」を基に作成する。

例：読むこと

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(単元で扱う文法事項を) 理解している。  (単元で扱う文法事項～などの意味や働きの理解を基に)、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。等	あるテーマについての他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要、要点を捉えている。等	あるテーマについての他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要、要点を捉えようとしている。等

◇実際の評価に当たっては、他領域（「話すこと〔やり取り〕」など）の評価規準を設定することも考えられる。

4 指導と評価の計画（全〇時間）

（〇…「記録に残す評価」）

◇「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の第3編に「単元ごとの学習評価について（事例）」が示されているが、単元に応じた評価規準の設定から評価の総括までの流れを参考にすることができる。

◇生徒の立場で書く。

次	時	ねらい (■) ・主な言語活動等 (丸数字)	評価の観点			備考
			知	思	態	
一	1	<p>■教科書本文から必要な情報を読み取り、読み取った内容を伝えあう。</p> <p>①教科書本文を読む際の一般的な読み方の学習として、以下のことを学習する。 ・本文を読む前に質問を読み、本文内容を予想する。</p> <p>・予想があっているかどうか、本文を読んで確認する。</p> <p>②本文を要約して話す。 ③単元を通した自己目標を設定する。(第1時)</p>	<p>◇評価の観点における「知」は「知識・技能」、「思」は「思考・判断・表現」、「態」は「主体的に学習に取り組む態度」を示している。</p>			<p>継続的に取り組む力」等、振り返りなどについて</p>
二	1	<p>■</p> <p>◇記録に残す評価の設定は、単元に応じて適切に設定する。定期考査等の活用も考えられる</p> <p>①</p> <p>②</p>				
七	1			○	○	

5 指導上の立場

- 単元観
- 生徒観
- 指導観
- 研究主題との関連
- 全国及び県学力・学習状況調査との関連

◇指導者の立場で書く。

- ◇単元観…学習指導要領の記述から「単元を通して身に付けたい力」について整理すると共に、「単元の系統性」(何を学んできたのか、今後どんな学びにつながるのか)も併せて整理する。その際、教科書教材や資料集等の分析を行い、その単元の難しさを把握し、生徒の学習課題を把握して書く。
- ◇生徒観…単元や本時に関する「既習事項の定着状況」と「学習に対する学級の課題」を生徒の実態として記述し、整理する。
- ◇指導観…単元観と生徒観で記述した「学習上の課題」を克服するための指導者の意図や思いを「学習指導のためのアプローチ」として具体的な指導・支援の手立てを書く。これが研究授業の「研究仮説」や「提案性」につながる。
- ◇研究主題との関連…研究主題を簡潔に記述し、研究主題と授業における指導方法の工夫等との関連等を書く。
- ◇全国及び県学力・学習状況調査との関連…現状と課題について記述すると共に、本単元で意図する事項について書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

- ◇「2 単元の目標」「4 指導と評価の計画」との整合を図る。
- ◇本時の評価規準との整合を図る。
- ◇生徒の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
◇生徒の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇生徒の立場で書く。
2 (1)	めあて	
◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。	◇生徒の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。	
(2)		
3 ◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、生徒の学習活動を具体的に書く。 ◇授業展開については、「岡山型学習指導のスタンダード（授業5）」を参考にする。	◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。 ・生徒が主体的に学習を進めるための手だて ・生徒が対話的に学習を進めるための手だて ・生徒が学習を深めるための手だて ・生徒一人一人の学習状況に応じた手だて ・予想される生徒の反応 ・資料提示のタイミングや方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物 等 ◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。 ◇「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への手だての例を示す。	◇単元を通し能資質・能力を育成する踏まえて、本時の評価規準を具体的に表現する。 ◇評価の場面は1、2箇所絞る。 ◇評価規準に合わせて、評価の観点・記述を明記する。 ◇評価方法を具体的に書く。
	まとめ	○例：～している。 [評価の観点] (評価方法)
5	◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。  ○ ◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ！」』を参考にする。	◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノート、ワークシートの記述 等

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の姿の例 例：～している。

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう生徒の姿について、想定される生徒の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な生徒の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。